

## 衛生陶器の安全のための表示

日本衛生設備機器工業会では、衛生陶器が、ヒートショック（熱湯をかけるなど急激な温度差）や衝撃などで破損することについて、ユーザーが安全に衛生陶器をご使用いただけるよう、「人身への危害と財産への損害を未然に防ぐための警告表示」について、基本的な注意事項の表示の仕方を取りまとめました。

## 衛生陶器における警告及び注意事項の表示例









### ヒーター付便器





	水がかかったり、陶器の表面に結露が生じるような浴室などでは、絶対に使用しない。故障・漏電の原因になります。
	電源コードを無理な力（曲げ・折れ・ねじれ）で傷つけたり、加工を絶対行わない。火災の原因になります。
	ヒーター用プラグの電源には、交流100Vを使用し、コンセントにガタつきの無いことを確認のうえ、根元まで十分に差し込む。 交流200Vや直流電源を使用しますと、火災や故障の原因になります。

# 注意

## 便器一般

	タンク内に水洗トイレ用芳香洗剤を入れる場合は、排水出口を詰まらせないよう十分注意する。また、手洗鉢にトイレ用芳香洗剤を置く場合は、排水を阻害していないことを十分確認する。 止水不良や洗浄不良の原因になることがあります。
	便器には新聞紙、紙おむつ、生理用ナプキンなど、詰まりやすい物は流さない。鉛筆、ボールペン、くし、歯ブラシなどは、内部でつかえるので、もし誤って便器内に落とした場合は、必ず拾い出す。 便器が詰まり、汚水があふれて家財を汚す原因になることがあります。
	便器の排水路が詰まった場合、そのまま水を流さない。 便器から汚水があふれて家財を汚すことがあります。詰まったときには、市販の吸引器（商品名：ラバーカップなど）を使用して除去してください。 除去できない場合は、取付店に修理を依頼してください。
	手洗鉢の中に造花などの飾り物を置かない。 万一、その一部がタンク内に侵入すると、止水不良の原因になったり、排水を阻害して、手洗鉢から水があふれ、家財を汚す原因になることがあります。
	結露が発生した場合は、乾いた布などで拭き取る。 梅雨時や冬の暖房時に、タンク表面によく発生する結露は、床にシミを作ったり、腐らせたりする原因になることがあります。
	洗浄水量を減らすために、タンク内にビール瓶やレンガなどを入れない。 作動不良や詰まりの原因になることがあります。

## 陶器一般

	陶器に熱湯を注がない。 陶器が破損してけがをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。
	陶器に硬いものを落とさない。 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財をぬらす原因になることがあります。
	陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らない。 破損部でけがをするおそれがあります。
	陶器にひびが入ったままで使用しない。 突然割れて怪我をする恐れがあります。